

三郷市のこれまでの取組と現状について

「三郷市かわまちづくり協議会」について

三郷市のこれまでの取組みと現状について①

	国・県	三郷市
平成20年度	【国交省】 三郷緊急用船着場の整備 (江戸川5か所目)	
平成22年度		◎検討業務：緊急用船着場等の活用 (舟運、河川敷のにぎわい創出)
平成23年度		[5月] みさと船着場フェスティバル (第1回)
平成24年度	【国交省】 堤防天端の拡幅工事	★みさとの風ひろば (ベンチ・パーゴラ) 整備
平成25年度		★みさとの風ひろば (トイレ) 整備
令和元年度	【内閣府】 地方創生推進交付金支援 【国交省】 かわまちづくり支援 (検討支援)	◎検討業務：都市型ヘルスツーリズム構築 (健康×観光…健康寿命の延伸、関係人口の創出) ※ウォーキング・サイクリング・スポーツ、食、農 など
令和2年度		<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">継続支援</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">新型コロナウイルス</div>
令和3年度		[1月] かわまちづくり準備会を開催
令和4年度	【埼玉県】 ふるさと創造資金支援 (県重点施策連動)	[7月] かわまちづくり協議会を組織 [10月] みさと船着場フェスティバル + 実証実験
令和6年度	【国交省】 かわまちづくり計画の認定	[4月] かわまちづくり計画の申請

地方創生
 少子高齢化・人口減少／健康寿命

グリーンインフラ
 脱炭素・吸収源／災害緩衝

ポスト・コロナ
 密の回避／運動機会の創出

国土強靱化
 災害に対する柔軟性 (予防・対応)

三郷市のこれまでの取組みと現状について②

「江戸川交流拠点」周辺図



三郷駅周辺は市の主要拠点のひとつ

- ・ J R 三郷駅（武蔵野線）
- ・ 流山橋（県境）
- ・ 江戸川サイクリングロード
- ・ 緊急用船着場（→舟運？）
※他の河川で平時利用の事例あり

の交通集積エリアとも考えられ、河川敷スペースの活用による活性化の地域要望も強く、長年に渡り検討を続けてきた。

河川敷と「まち側」との関係としては、堤防が高く傾斜が急であったり、県道の交通量が多く信号がないなど、「行き来のしやすさ」に課題もある。

■みさとの風広場 (H26.4)



江戸川サイクリングロードの休憩施設として認知されてきた。

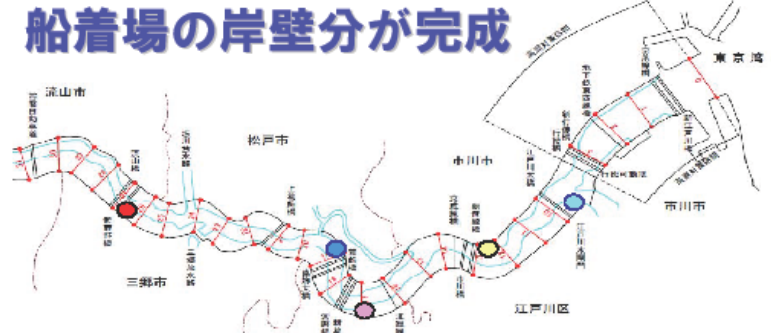
■三郷緊急用船着場の整備 (H21.3)

三郷出張所だより

出張所だよりは江戸川河川事務所のホームページ
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa>)に掲載しています。

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
三郷出張所 発行
電話 048(952)7015
2009年4月30日【第8号】

江戸川5番目となる三郷緊急用船着場の岸壁分が完成



JR武蔵野線江戸川橋梁南側の河川敷に「三郷緊急用船着場」が完成しました。

	整備年度
○上藤崎緊急用船着場	H8
○市川緊急用船着場	H13
○柴又緊急用船着場	H11
○松戸緊急用船着場	H13
●三郷緊急用船着場	H20



緊急用船着場とは・・・
災害で破損した河川施設や被災した市街地を復旧するための資機材を運び込んだり、救援物資等を水上ルートで運ぶ時に利用できる船着場です。



◆阪神・淡路大震災での船の活躍
阪神・淡路大震災の時、兵庫県知事だった貝原俊民氏は、2003年3月に行われた「第3回世界水フォーラム」で阪神・淡路大震災の時の状況について、「すべてのライフラインが切断された時に、輸送体系で動いたのは、徒歩を除いては水運だけだった。」と語っています。

◆震災直後の役割	
病人の搬送	緊急物資の搬送
火災の消火	支援要員の搬送

三郷市のこれまでの取組みと現状について③

■みさと船着場フェスティバル (H23.5~) ※コロナ禍のため R2・R3 は2年連続中止

船着場を活用した舟運については『下流部における事業者撤退の経緯や現状…期待することは極めて困難』との結論 (H22・市の調査報告) → 当面は《舟運イベント》《高水敷イベント》《サイクリング通過客を立寄客に変えること》により人を呼び、河川敷スペースの魅力に対する認知を広げることとし、継続してきた。

第9回

みさと船着場

フェスティバル



5/11

(土)

日時：2019年5月11日(土) 10:00~15:00
 場所：三郷緊急用船着場(江戸川河川敷)
 JR三郷駅南口徒歩5分(雨天中止・手話通訳あり)

--- プログラム ---

- ★11:00~13:00 **水上バイク・ジェットボート乗船体験**
【バイク先着20名、ボート先着50名】 優先乗船券配付 10:10本部集合!!
<注意> 優先乗船券はおひとり様1枚限り、ご本人様しかお渡しできません
- ★13:00~14:00 **レスキューデモンストレーション**
- ★14:00~14:20 **ダンス発表**
- ★14:30~14:45 **季節のお花 無料配布**

--- etc. ---

- Kawa's Cafe(グルメ)
- 40m級はしご車乗車体験
- 餅日コーナー
- 水ヨーヨー、射的、輪投げ
- ふるさと切手臨時販売

- 飛びつき教室
- 起票車による地震体験
- 子ども防火体験体験
- 子ども防火体験体験
- AED講習

※各アトラクションは天候等により中止する場合がございます

【協力】 国土交通省江戸川河川事務所三郷出張所、三郷市商工会、三郷市内河振興会、みさと民の会、エムターマリン船、(一社)ウォーターリズスマネジメント協会、船着場の賑わい(リラクゼーション)、(一社)日本海洋レジャー安全・振興協会、スターZCAM八潮営業所

【主催】 三郷市

【問い合わせ】 三郷市プロジェクト推進課 049-930-7713(直通)



ホームページコード

会場の様子



ジェットボート乗船体験



Kawa's Cafe (グルメ)



第9回みさと船着場フェスティバル 会場案内図

江戸川

関係者のみ駐車場
※一般車両は乗り込み禁止

水上ボート・水上バイク乗り場(ボート)

←三郷駅方面

①: 本部
三郷市

②: Kawa's Cafe(グルメ)
三郷市商工会
三郷一丁目町会
(特)餅の日

③: 体験ゾーン

④: 飛びつき教室
みさと民の会

⑤: 飛びつき教室
みさと民の会

⑥: エムターマリン(船)
(一社)日本海洋レジャー安全・振興協会
(一社)ウォーターリズスマネジメント協会

⑦: 餅日(ヨーヨー、射的、輪投げ)

⑧: 体験ゾーン
スターZCAM(株)八潮営業所

⑨: 水上バイク・ボート乗り場待合場

⑩: 子ども用防火体験体験、他
三郷市消防署

⑪: 40m級はしご車乗車体験
三郷市消防署

⑫: 地震体験
スターZCAM(株)八潮営業所

⑬: キヤストリートダンス会場

⑭: 季節のお花(無料配布)
三郷市消防署

⑮: 手洗いでいい

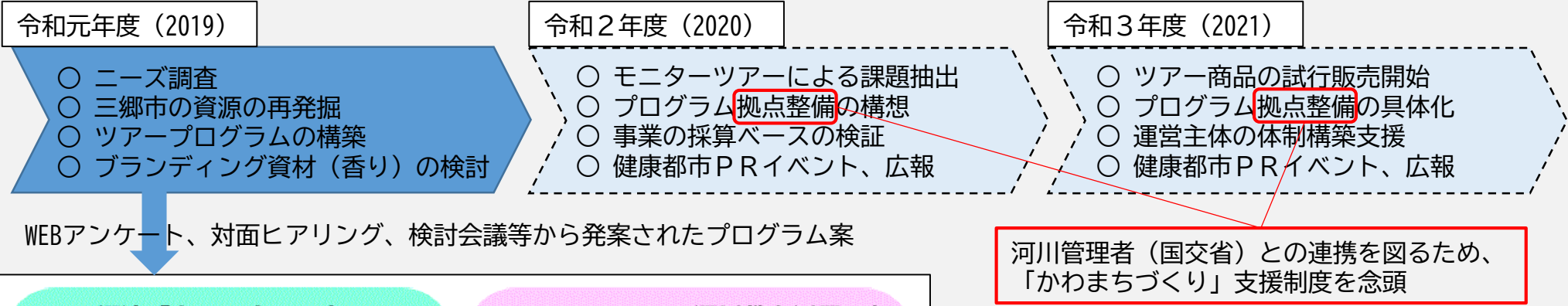
⑯: おトイレ

⑰: 駐輪場

三郷市のこれまでの取組みと現状について④

都市型ヘルスツーリズムの構築による地域の活性化検討（内閣府・地方創生臨時交付金事業）

三郷市の《水と緑の環境》を活かして、市民がさらに健康的な活動を行いやすくするとともに、より多くの来訪者・消費を生みだすべく、以下のスケジュール想定で検討をスタートした。



WEBアンケート、対面ヒアリング、検討会議等から発案されたプログラム案

CAMP

① 三郷流「タベルナ」による多世代交流型プログラム

- 三郷がホストタウンを務めるギリシャ国の大衆食堂「タベルナ」の心身の健康要素を取り入れたアウトドア・アクティビティ
- 若い女性から高齢の方の広いニーズを捉えた「多世代交流型」でソーシャル・キャピタル形成に寄与
- 三郷流「楽しい食の採り方」を提起

② 河川敷を活用した「企業向け」プログラム

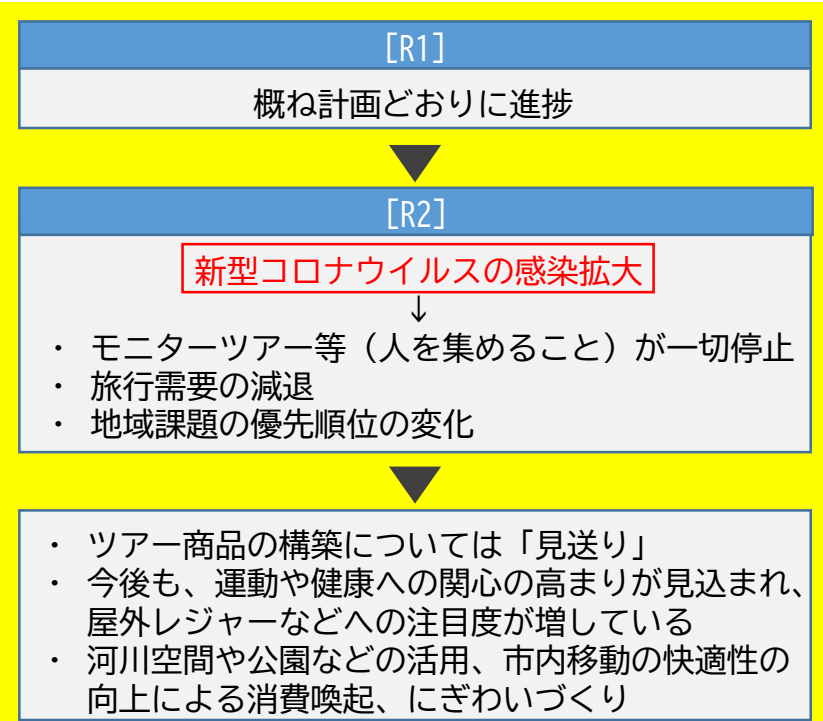
- 三郷市に多く立地するものづくり企業等の健康経営を後押しする、企業向けヘルスツーリズムとして、屋外型人事研修プログラム「PA=Project Adventure」を導入
 - 絆を深めコミュニケーションの質を高めるとともに、市内外の企業の健康経営に資するプログラム

③ 市内回遊型 農業体験プログラム

- 三郷に多く存在する農業資源を活用した、フルーツツーリズムや観光農園等の農業観光の推進
- 若い女性と高齢男性に需要が高い「自然」資源を活用し、「農業」とのふれあいで心と身体の健康に寄与

④ 水面を活かしたスポーツプログラム

- 三郷のアイデンティティのひとつである「河川=水面」による「ウォーター・プログラム」を中心とした、身体の内外から健康になるプログラムを提供
- 特に60代超の男女に高い「運動プログラム」に対するニーズに対応。新たな都市イメージを獲得



三郷市のこれまでの取組みと現状について⑤

都市型ヘルスツーリズム検討の成果

■みさと観光農園・即売所ガイド



シェアサイクルで移動しながら、市内観光農園で採取した野菜や果物をつかった「自分好みのサンドイッチ」をつくるプログラムが検討された。

(<https://www.city.misato.lg.jp/2121.htm>)

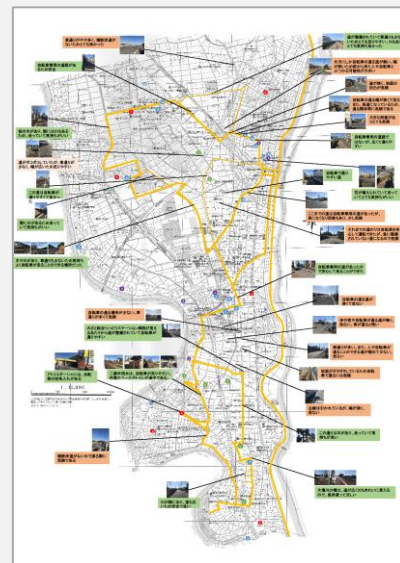
■オリジナルアロマ (火・風・水・大地)

「香り」で健康都市・三郷を印象付けるため高校生がブレンドしたオリジナル精油を作成市内の公共施設でテスト散布した。



■自転車観光ルート の点検

2名の大学生モニターに実際に市内を自転車で走ってもらい、危険個所や、景色がきれいな場所などをマップに書き込んでもらった。



令和2(2020)年10月、内閣府地方創生担当副大臣が、三郷市の江戸川河川敷(船着場・風ひろば)を視察

(左から、菊名市議会議員(当時)、木津市長、三ツ林副大臣(当時)、美田県議、逢澤県議)



(<https://www.h-mitsubayashi.com/report/2020-10-20/>)

■観光マップ(まっぐる特別編集版 三郷)



「健康」イメージをコンセプトとして、散策やサイクリング中心のコース設定やスポーツ施設の紹介などを前面に押し出したマップを制作。検討内で再発掘された資源を再編集するとともに、コロナ禍の影響を受ける飲食店や観光施設の事業者支援も狙った。

(<https://www.city.misato.lg.jp/10764.htm>)



「三郷市かわまちづくり協議会」について①

かわまちづくり協議会の目的

河川空間とまちの空間が融合した魅力ある地域を創出する取組を実現するため、地域の資源である河川の活用について、今後の方向性及び具体的な手法についての検討を行う。

当面の活動内容

三郷駅周辺

江戸川

河川敷の利用

にぎわい創出のための
方針の検討

アイデア出し

実証実験

運営・維持管理の
仕組みの検討

利用調整の検討

将来的な活動内容

※新たな委員の選任、部会の設置が可能

自転車活用促進

スポーツ環境の整備

自然体験・環境学習

防災・治水

舟運

テーマ

早稲田地区北部

三郷中央地区

みさと公園エリア

市外

葛西・水元公園
流山・松戸
吉川・松伏

エリア

三郷放水路・中川

大場川・第二大場川

二郷半領用水路

その他の
水関係施設

陸上競技場
スカイパーク
など

対象の河川等

徐々に、
範囲を広げ
深掘りしながら

道路や交通など
都市環境も含め
川に囲まれた環境
を活かした
まちづくりを検討

「三郷市かわまちづくり協議会」について②

想定スケジュール

